

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 5月 12日

【評価実施概要】

事業所番号	2275500565
法人名	都メディカル有限会社
事業所名	グループホーム磯葉の家
所在地 (電話番号)	〒437-1622 静岡県御前崎市白羽5522番地の5 0548-63-1120 FAX 0548-63-1121
評価機関名	セリオコーポレーション有限会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年3月17日

【情報提供票より】(平成20年2月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 15 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤	17 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 15.7 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	3 階建て	1 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要(平成20年 2月25日現在)

利用者人数	27 名	男性	6 名	女性	21 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	15 名	要介護4	4 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	72 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	座光寺医院
---------	-------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

御前崎市の中心部に立地するグループホーム「磯葉の家」は、県道241号に接した鉄骨3階建て、3ユニット27名の利用者が生活している。建物は外観から施設的に見えるが、玄関周り、道路に面した駐車場兼広場にはベンチも置くなどして一般家庭の雰囲気を出そうとしている。この広場にはお祭りの際、屋体の休憩場所として地域との交流の場ともなっている。「ゆったりと楽しく」「自由にありのまま」「仲間と一緒に暮らす」を理念として地域社会に密着したグループホームを目指している。ホーム長はじめ職員は、ケアのための職員であると同時に、利用者と生活を共にする生活相手であることを認識し、利用者及びその家族との強い結びつきを実践している。ホーム内の雰囲気は明るく、にぎやかで職員も屈託なく利用者とともに暮らし、海岸でのドライブ、近くへの散歩など利用者のペースに合わせたケアがされており、職員研修も充実したホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価における要改善項目は一部を除き改善されている。前回の改善課題である(今回評価項目にはない。) 「権利・義務の表示」 について、契約書等に盛り込まれていなかったが、利用者や家族等にとって理解しづらい分野であるので、利用契約に当たっては十分に説明されることを望みたい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価に当たって管理者が職員とのヒヤリングを通して全体を取りまとめているが、職員全体での話し合いが行われておらず、評価の意義と理解が十分浸透していない状況が見受けられる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	4ヶ月に1回実施し、ホーム状況報告・行事予定等を議題にしている。メンバーは民生委員、市職員、家族、ホーム管理者等で構成されているが、更に自治会の役員、地域住民の参加のほか、開催回数も2ヶ月に1回は実施できるような取り組みが望まれる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等に対して、毎月の利用料の請求時に金銭管理の報告と共に、担当職員がホームでの暮らしぶりについて手紙を添えて報告しているほか、健康状態については、緊急時にはすぐに連絡をとるなどの措置をしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の行事やお祭り等には利用者とともに積極的に参加している。また、畑を借り受けて農作業する中で地域との交流を深めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域の中で、ゆったりと楽しく、自由にありのまま、仲間と一緒に地域の中で暮らすことを理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ユニット会議等で日々のケアについての話し合いはされているが、理念の実現をより身近なものとするために具体的な行動を設定していないため、職員間における理念の捉えられ方に共有化がみられない。	○	職員は、個々に理念についての解釈を持ち合わせているが、身近にあるものを具体的にどのような行動に移したらよいか個人によって異なっている。このことを踏まえ、理念を実現するための方策として具体的行動指針を職員全員で協議して決め、実行することが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事やお祭り等には利用者とともに積極的に参加している。また、畑を借り受けて農作業する中で地域との交流を深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価における要改善項目は一部を除き改善されている。自己評価に当たって管理者が職員とのヒヤリングを通して全体を取りまとめているが、職員全体での話し合いが行われておらず、評価の意義と理解が十分浸透していない状況が見受けられる。	○	ミーティング等の場において、外部評価の結果や自己評価については全職員がその課題の認識を持ち、改善にむけて具体案の検討や実践につなげるための取組みが望まれる。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	4ヶ月に1回実施し、ホーム状況報告・行事予定等を議題にしている。メンバーは民生委員、市職員、家族、ホーム管理者等で構成されている。	○	開催回数を2ヶ月ごとに1回開催できるようにすること、地域住民や自治会の役員等の参加の呼びかけを更に勧められることが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当窓口には折に触れ出かけたり、市主催による会議・研修には積極的に参加する等して連携を深める努力をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族等に対して、毎月の利用料の請求時に金銭管理の報告と共に、担当職員がホームでの暮らしぶりについて手紙を添えて報告している。健康状態については、緊急時にはすぐに連絡をとるなどの措置をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等から意見を聞く特別な機会は設けていないが、手紙や訪問時等で常に問いかけ、意見をもらえる雰囲気づくりに留意している。また、出された意見・要望等があった場合はミーティング等の場において検討、反映するようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員から退職等の申し出があった時は、引継ぎ期間を十分とり、利用者への影響を少なくするため、周囲の職員がフォローする体制を敷いている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会を確保し、実行されている。また、研修内容が充実しており、職員間での共有化も行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の会議・研修、防災訓練や合同で行う行事(お花見、いちご狩り、夏祭り等)には参加し言葉を交わす程度となっている。	○	同業者とのネットワークづくりや勉強会等、相互の交流ができることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	サービス利用開始前に本人及び家族にホームの見学を呼びかけ、本人が職員や他の利用者の輪の中に入って、その場の雰囲気やサービスを体験する中から、徐々に馴染まれるよう家族等と相談しながら働いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者は人生の先輩であるとの考え方を職員が共有認識しており、利用者から生活の知恵を授けたりする中で、お互いが協働しながら共に過ごし支えあえる関係が築かれている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、言葉や表情などから希望や意向の真意を推し測ったり、それとなく確認する等している。また、意思疎通の困難な利用者にあっては家族等から意向を聞くようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者各人の介護計画は、ユニット会議において各利用者担当の職員が作成した介護計画に基づいて協議した結果を、家族等に説明し、意見、承諾いただいた上で作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	各利用者担当職員が中心になり、3ヶ月に1回の見直しを基本に、毎月のユニット会議やモニタリングの中から変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画の見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、通院や送迎等の支援を行っているほか、本人の希望による外出、外食の支援が行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族等の希望によりかかりつけ医による受診のほかは、協力医療機関による受診の支援を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合には、家族等、医師、ホームの三者で対応策を話し合い、利用者本人にとって最もよい方法を探っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への声かけや対応は、個々の尊厳を大事にして入浴時やトイレ誘導などの配慮を行っている。また、介護経過記録などは利用者の目につかない所で行ない個人情報のファイルなどは事務所に保管しているが、訪問者受付簿は一覧記名式になっており、プライバシーを損ねる状況が見られる。	○	誰もがみれる訪問者受付簿は一覧記名でなく、例えば、一人一葉として訪問者の意見や要望を書ける様式にするなど、プライバシーの確保が望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活の流れはあるが、時間を区切った過ごし方ではなく、その日の一人ひとりの体調に合わせて、買い物や散歩等、その時の本人の気持ちを尊重した暮らしの支援が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日曜日には利用者からの希望を採り入れた献立や、配膳・下膳、洗い上げ等利用者のできる作業を職員と一緒にやっている。また、職員は利用者と同じテーブルを囲んで楽しく食事できる雰囲気づくりに心がけている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は各ユニットごとに異なっているが、一人ひとりの希望を聞き、湯温を調節するなどして入浴が楽しめるような支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴や能力により、家事全般の仕事(掃除、食事の準備・片付け、洗濯物干し・たたみ、買い物、畑仕事等)の役割分担や、散歩、ドライブ、外食など暮らしを楽しむ支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	屋内にこもらないよう外気浴やホーム周辺の散歩の他、季節の花見や夏祭り、外食など、利用者の希望や安全面、天候に配慮しながら、様々な工夫を凝らして外出機会を創り出している。また、その機会を活用して利用者が思っていることの把握や関係作りに役立っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者はじめ職員全員は、鍵をかけないケアを当然のこととして認識しており、職員の見守りを徹底する中で、玄関は日中鍵をかけずに開放している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の企業、ボランティアの協力も得られる中で、年2回定期的に避難訓練を実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養バランスの摂れた献立が供され、利用者が食べた量も毎回、確認し記録されているが、水分の摂取については必要な人だけを記録している。</p>	○	<p>利用者全員について、食事の量ばかりでなく、水分の摂取状況を個々に毎日記録し、健康状態の変化を読み取れることが望まれる。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は明るく、家具類や調度品等も家庭的な雰囲気のするものが置かれており、利用者にとって不快な音や臭気もない。また、壁などには季節感のある飾りつけがされている等、居心地のよい環境が作り出されている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には家族の協力の下、愛用の筆筒・家具や仏壇など本人の馴染みの物や好みもの等、生活感のあるものが持ち込まれ、利用者が安心して暮らせる場所となっている。</p>		